

れがロータリークラブかと思えます。従来以上に親睦を深める為に特に次の2点について会員の皆様の協力をお願いします。

1. 例会の席決めについて

毎回クジにより席を決定（ビジターも同じ）。これによりお互いの交流をより密に。

2. 親睦旅行

久しく途だえていた親睦旅行を一泊二日（予定では9月27日（土）28日（日））で実施。

但し以上の事柄はまだ理事役員会の承認は得ておりません。決定しましたら宜しくお願いいたします。

次年度理事会

開催日時 平成9年6月10日（火）11:30~12:30

開催場所 三条ロイヤルホテル2F

出席者 米山 落合 吉川 堀川 長谷川（博） 大野 本間（建） 今井 小林 山本（充）
佐藤（啓） 梨木 オブザーバー本間（茂） 出席者12/14名

協議事項 1. 各委員会からの事業計画報告

2. 次年度予算案について 継続審議

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

6月17日例会： 今年度を振り返って 堀川正幸会長

6月24日例会： 会長・幹事慰労会 於さどや

7月1日例会： クラブアッセンブリー

7月8日例会： 夏期交換学生を迎えて

7月15日例会： 卓話



三条北ロータリークラブ週報

築け未来を 行動力と先見の眼で

例会日
1997. 6 . 10
累計 No 515
当年 No 46

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ 第2560地区ガバナー 吉田昭平

会長／堀川 正幸
幹事／佐藤 義英
SAA／長谷川 恵慈

例会日／火曜日 12:30~13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事： 家庭会合報告会 プログラム本間（建）委員長、社会奉仕 山本（充）委員長
親睦活動 今井委員長

出席： 本日の出席 54名中38名

先々週の出席率 55名中48名 87.27%（前年同期77.97%）

先週のメイクアップ： 6月5日 巻RCへ 米山忠俊さん

8日 津南RC20周年記念式典参加 堀川正幸さん、山上茂夫さん

9日 三条南RCへ 大竹保男さん、加藤 實さん

ビジター： 三条RCより 吉井俊介さん、渡辺勝利さん、古沢富雄さん

三条南RCより 田中康雄さん、馬場信彦さん

会長挨拶： 堀川正幸

ご挨拶を申し上げます。

今日は先輩クラブより多勢おいでいただきましてありがとうございます。梅雨に入ったようで天気の方は今いちパッとしません、この雨も又必要としている所があるわけで、悪い事ばかりではないようです。私の挨拶も今日を入れて後2回程ですので、締め括りをしなければなりません、何とか締めてみたいと思います。今日は私が日頃感じている事で「逆説」という事について話してみたいと思います。

「逆説」に対して「順説」というのもあるかと思いますが、私達は日頃色々な事で努力いたします。例えば、「お金が欲しい、/」とか「地位が欲しい、/」とかです。

そして努力をした結果段々に成功してゆくわけですが、これが「順説」ではないでしょうか、つまり努力に対して正当な結果が得られるという事で、これは至極当然の事のように思われます。

しかしこれに対して、たまに全く逆の結果が出るという事もあるのではないかと思います。

一生懸命努力をするのに結果は段々悪い方へ行ってしまう場合です。お金が欲しいと思ってお金を追いかければ、お金が逃げてゆくし、彼女が欲しいと思って追いかければ、かえって逃げて行っ

てしまう場合などです。世の中にはこのような事が実際にあるというように聞いていますが、そうなるのとどのように考えれば良いのかわからなくなってしまいます。ところがある人はこのような事を言っています。成功する事それ自体は素晴らしいソであるけれど、失敗からは何も得るものがないかと言うと、決してそうではない、失敗の中からも多くの事を学ぶことが出来る、失敗から学ぶことによってその人の器が大きくなるのだと、そういう意味で人生に本当の失敗などは無い、と言っていますが、なるほどと思います。ロータリークラブにも広報委員会があり、対外的に宣伝をしますが、宣伝をしなければ一般の人には中々解ってもらえず、しかし宣伝をし過ぎると“何だ、独り善がりの自己宣伝ばかりして、”とかえって逆効果になってしまいかねません。努力はしなければならず、し過ぎてもしいけないとなりますと中々難しい問題です。

これも順説、逆説の一例ではないかと思いますがここで大切なのはバランス感覚ではないかと思えます。失敗からも学ぶ姿勢と人に迷惑をかけるほどやり過ぎてはならないというバランス感覚を大切にしていきたいと思えます。ご挨拶を終わります。

幹事報告： 佐藤幹事

- ・国際ロータリーより 1995—96年度ロータリー財団年次報告が届いています
- ・2560地区社会奉仕部門、環境保全地域発展委員会より 社会奉仕委員会事業成果についての問い合わせ
- ・高木善之講演会実行委員会より 御礼と協力のお願い

ニコニコボックス： 10日現在累計 1,116,513円

田中康雄君 (三条RC) 次年度夏期交換学生をお引き受けいただくことになりました。ホームステイをお受けいただきました山本、木宮両会員には厚く御礼を申し上げます。次年度国際奉仕委員長の小林満会員よりよろしくお願いします。

淵岡茂君 6/8、9日と全国砥石販売同業組合50周年記念大会に出かけてきました。砥石業界の将来が希望のもてる産業であることを祈りつつ南紀白浜の夜を楽しんできました。皆様砥石の事なら、本日おみえの田中の研磨材様、又はフチオカまで。

梨本清一君 所用にて早退させて下さい、失礼。

西村護君 三条風合戦にて我、旭組が白組準優勝させて頂きました。平均年令38才の旭組が上位にくるのがめずらしいのでボックスにいれます

山本充君 ボックスに協力

イライラボックス： 10日現在累計 5,000円

家庭会合報告会：

プログラム委員長 本間建雄美

5月24日、家庭会合は吉川宅へ出席させて頂きました。

会合では次年度の会長方針や活動目標の報告を、又、ロータリーについての様々な間や意見が出て大変身の有る会合でした。プログラム委員としては、それ等を参考に、他の委員会とも会合を持ち、次年度の会長方針、活動目標に沿って事業計画を作成したいと思います。

又、竹林の館で竹の気の中、御主人、奥様の手造りの数々の料理、数種類の竹酒、大変美味しく戴きました。少し酔いがやすらぎの気分？ 今夜は有難うございました。

社会奉仕委員 山本 充

今回は吉川さんの素晴らしい竹で出来た家にお伺いさせていただきました。その席で米山次年度会長より基本的なクラブの運営方針や各委員会に何を期待するのかというお話をいただき、次年度の社会奉仕委員長をさせていただく上で、大変に参考になりました。特に社会奉仕委員会で青少年の問題を扱うのもいいのではないかとアドバイスをいただきました。

そんな中で私が気になっているのは、今、青少年と私達の世代の相互に対する無関心がひどすぎるということです。茶髪の若者に違和感を覚え、彼らの行動や文化になじめず、距離を置いて無視というのがたいていの中高年代のスタンスではないでしょうか。若者も自分より上の世代のやっていることに関心をはらうということはあまりないようです。時代が違うのですから、お互いを理解せよといっても無理ですが、私達は世代が違っても同じ地域で何らかの関わりをもって生活していることだけは事実です。そして時代を担う若者達に人間的に成長してもらいたい、将来の三条市をより充実した町にしてもらいたいという願いもあります。だからこそ若者とのコミュニケーションの断絶はけして良いことではないと思うのです。少なくとも若者が理解できなくとも若者のやっていることを認め支援することは私達にもできます。特に今は先が見えづらい時代、価値観が定まらない時代で自信と元気を失っている若者が多いのではないのでしょうか。

そこで次年度の社会奉仕係の委員会では若者の文化活動、イベント活動を支援する運動を行いたいと思います。今の若者は音楽活動に非常に興味をもっている人が多いようです。若者の音楽イベント（ロック系になる可能性もあります）で彼らが企画、開催する為の支援を行いたいと思います。資金的な支援を行うと同時に彼らのコンサートを彼らだけで楽しんで終わるのではなく、その収益金をこの地域で援助を必要としている人々の為に提供してほしいと思っています。そういうかたちで彼らに他の人々との有益なつながりをもって欲しいと思っています。またそのイベントを行う過程の打ち合わせや交流を通じてこの地域の若者の願いやニーズを探り、今後のロータリー活動の参考にしたいと思っています。

親睦活動委員会 今井委員長

ロータリーの原点は会員同志の親睦と友情です。「親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団」そ